

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院整形外科・リハビリテーション部では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：日常生活動作における運動学データの主成分分析

1. 研究の概要

日常生活動作は、整形外科およびリハビリテーション医療において評価・治療の対象であるため、その運動学的理解は重要です。我々は日常生活動作の一つである食事動作について、健常者の全身の関節運動の、経時的特徴を明らかにして報告しました。しかし、食事動作は上肢・頭頸部・体幹がそれぞれ異なる役割をもって同時に運動していることが考えられましたが、その点は明らかにできませんでした。多変量解析のひとつである主成分分析では多くの変数を意味のある少数の変数に変換できるため、多くの変数を取得できる全身の運動データを分析して、異なる役割を持った、同時発生する全身の食事動作を理解できると考えました。

以上から、健常者の食事動作を構成する身体各部位の意味のある運動を探索するために、本研究を計画しました。

【実施責任者】

宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション部 荒川 英樹

2. 目的

本研究では、整形外科およびリハビリテーション医療において評価・治療の対象となる日常生活動作を理解するために、日常生活動作から取得される健常者の運動学データに対する、多変量解析のひとつである主成分分析を行い、全身運動において各身体部位が担う役割について検証することを目的としました。

3. 研究実施予定期間

この研究は、研究機関の長の許可後から2026年3月まで行われます。

4. 対象者

2013年2月から2018年3月に3次元動作解析装置を用いた食事動作の動作解析(研究番号1116)に参加された方が対象となります。

5. 方法

収集する情報は、研究対象者の性別・年齢などの基本情報、食事動作(スプーン・箸)中の全身の関節角度と、全身に装着した慣性センサーと各身体部位(上下肢・頭頸部・体幹)の位置・傾き・時間などの運動学データ、カメラ映像です。これらは本学で収集した既存情報(研究番号1116)であり、この研究内容と関連性が強いいため利用します。

この研究では、研究対象者の測定された食事動作中の運動学データに対して主成分分析を行い、全身運動のなかで、各身体部位の動作が担う役割について解析します。また、日常生活

動作には性差があることから、性別による動作の役割の違いについて検討します。

6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に特定できないように、数字や記号などに置き換えて使用いたします。

9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、研究の独創性確保に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10. 研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、実施責任者が所属する診療科の法人運営費で賄われます。

なお、本研究の研究担当者は、本研究に関連する企業および団体等からの経済的な利益の提供は受けていないため、申告すべき利益相反^{注1)}はありません。

注1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益(謝金、研究費、株式、医薬品・医療機器、検査・解析サービス等)の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を、学会、医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない(自分のデータを使ってほしくない)方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願いいたします。

宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション部

氏名：中武 潤

電話：0985-85-9849

FAX：0985-85-9847